

5 基本理念と基本方針

本町の水道事業は、今後給水人口の減少により配水量の増加は期待できない状態であり、給水収益は減少していくものと予測されています。一方、施設整備への投資には、1960年代後半（昭和40年代）の創設当初に布設した中・大口径管路が多く残されており、第1配水場の老朽化と合わせた対策が急務となっています。

本町水道事業としては、給水サービスの低下を招くことなく、住民に安全で安心な水道を提供し続けることが必要と考えています。また、地震等の災害に備えて施設・管路の耐震化対策も、給水収益の増減にかかわらず遅滞なく進めることが重要と考えます。

これらの社会的背景において「東浦町水道事業ビジョン」では、将来にわたり人々の暮らしを支えられる水道を目指して、「暮らしを支え 未来へつなぐ 東浦の水道」を基本理念と定め、事業運営を進めていくことが重要となります。さらには、「安全」「強靱」「持続」の3つの柱のもと、基本方針を明らかにし、水質、耐震化、安定経営に着目した施策に取り組んでいきます。

- | | |
|------|------------------------|
| 基本理念 | 「暮らしを支え 未来へつなぐ 東浦の水道」 |
| 基本方針 | 安全 いつでもどこでもおいしく飲める水道 |
| | 強靱 災害に負けないしなやかな水道 |
| | 持続 健全かつ安定的な運営で未来へつなぐ水道 |

